

根拠となる資料にもとづいて考えを深め、自分の意見を書こう

教材名「世界遺産-白神山地からの提言」

授業日：2024年10月2日 5校時

場 所：富良野市立東小学校5年1組教室

授業者：四ツ嶋 千晴

1 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(2)イ	・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。C(1)ウ ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。C(1)オ	・言葉がもつ良さを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝えようとする。

2 単元で取り上げる言語活動とその特徴

本単元では、言語活動例「ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動」を具体化し、複数の資料を読むことを通して、考えたことを意見文に書くという活動を取り上げる。

本活動では、意見文を書くために、様式の異なった資料から、自分の考えを確かなものにするための根拠を見付けていく。そこでは、資料として提示されている連続テキストと非連続テキストの読み方についても学ぶことになる。意見文をまとめるにあたって大切なことは、自分の意見をもつことである。複数の資料を読み比べていく中で自分の意見の根拠となる事実を見だし、それらを基にして意見文を書いていくようにする。

本単元の「思考力、判断力、表現力等」の目標との関連において、子どもたちが内言と外言を無意識的に表現することによって物語の世界を重層的に読むことができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 (2)イ	①目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ ②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ	①情報と情報との関係について理解し、複数の資料を読み、考えたことを意見文にまとめる活動を通して、必要な情報を見つけたり論の進め方について考えたりすることに向けた粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

4 単元の指導と評価の計画（全9時間）

次	時	育成する資質・能力と 指導上の留意点	評価規準・評価方法等 【B】 おおむね満足できる状況	主な学習活動
第一次	1	<p>■ 導入段階 白神山地について知り、自然保護についての課題を捉える。</p>		<p>・資料の1、2を読み、白神山地の課題について考える。</p> <p>・学習課題を設定し、学びのプランを立てる。</p>
		<p>〈学習課題〉白神山地の自然を守るには、人が入るべきなのか、入らない方がよいのだろうか。</p>		
第二次	2・3	<p>■ 展開前半 連続テキストや非連続テキストを読み、白神山地の自然について知る。【知・技①】</p>	<p>【B】 白神山地について書かれた連続テキスト、非連続テキストを読み、自然の状況について理解している。</p> <p>〈学びのプラン〉 自然保護に関する情報を捉えている。(わかること・できることア)</p>	<p>・複数の資料から自分の考えの根拠となる事実を選び、考えをまとめている。</p>
		<p>・連続テキスト、非連続テキストといった複数の資料を読み、白神山地の自然について捉えることができるようにする。</p>		
	4・5	<p>■ 展開後半 複数の資料から読んだことを根拠にして自分の考えをもつ。【思・判・表①】</p>	<p>【B】 複数の資料から2～3つの情報を基にして自然保護についての自分の考えをまとめている。</p> <p>〈学びのプラン〉 意見文を書くための根拠となる情報を見つけて、自分の考えをまとめて書いている。(考えること・表すことイ)</p>	<p>・複数の資料から自分の考えの根拠となる事実を選び、考えをまとめている。</p>
第二次	6	<p>■ 展開後半 反対意見の良さを考えることを通して、自分の意見について吟味する。【思・判・表②】</p>	<p>【B】 反対意見の良さを認めつつ、自分の考えの妥当性について根拠を示してまとめている。</p> <p>〈学びのプラン〉 考えの異なる意見の良さについて捉え、自分の考えをまとめている。(考えること・表すことウ)</p>	<p>・反対意見のよさを考えることを通して、自分の意見について吟味し見直している。</p>
		<p>・反対意見のよさについて考えることを通して、自分の意見の妥当性について吟味するよう促す。</p>		
第三次	7・8・9	<p>■ 終末段階 構成と内容を考えながら、意見文を書く。【主①】</p>	<p>【B】 自分の考えの根拠を明確にしながら、構成を考えて何度も読み返ししながら意見文を書いている。</p> <p>〈学びのプラン〉 連続テキスト、非連続テキストといった複数の情報を繰り返して読み、自分の考えの根拠を確かめながら、相手に意見が伝わるように何度も意見文を書き直して伝えようとする。(工夫して学ぼうとすることエ)</p>	<p>・意見文を800字程度にまとめ、お互い読み合い、交流している。</p> <p>・学びのプランの3観点に基づき、本単元の自分の学びを振り返っている。</p>

4 本時の計画 (6/9)

(1) 本時の目標 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ

(2) 展開

	○学習活動	●手立て、他 □評価規準
導 入	○前時の振り返り ○課題設定	●ラーニングマウンテンで学習の見通しを確認する。 ●前時までの学習でまとめた自分の意見をもとに、反対意見の友達と交流することを確認する。 ●反対意見の友達と交流するメリットを確認する。
	異なる意見を交流し合い、自分の意見をよりはっきりとさせよう。	
展 開	○反対の意見をもつ者同士で、意見を交流 ○個人思考 ○全体で交流 ○数名の文章を交流する。	●反対意見を交流することは、自分の意見の妥当性を考えるための言語活動だと確認する。 □文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ●3Z(①自分の立場②誰の意見、資料かわかるように③字数200字以上) ●書き方の例を示す。 ●個人で進めることが難しい児童は、T2教師のもとに集めて指導する。 ●個人で進められる児童は、自分の考えを書いた後に、自分の意見の妥当性を考えて、意見文を書く際の根拠になるようにさせる。
ま と め	○振り返り ○数名の振り返りを交流する。	●本時の学習を通して次の学習に生かしたいことを書く。